

# 日本洋書協会会報

Vol. 34 No. 8 (通巻399号) 2000年8月

## JAIP サマーパーティー 2000

ミレニアムイヤーに相応しく、協会恒例ビアパーティーの名称を今年からサマーパーティーと改め、7月19日に新宿のホテルサンルート東京「芙蓉の間」において開催されました。週の始めに関東地方には梅雨明け宣言が出され、当日は飲み放題のビールを飲み、交流を深めるには絶好の日和となりました。パーティーは文化厚生委員会の斎藤理事のオープニングスピーチで始まり、ビアパーティーから数えて通算八回目となる今年は51社から222名の参加を得る事が出来た事に謝意を述べられ、多様化社会で連日多忙であるが今日はのんびりと過して欲しいとご挨拶がありました。引き続き鈴木理事長より、会員増強運動が実を結んで本日も新たに8社が参加され、流通業者も加入し、この業界の地位が確保されたことと今後のJAIP Home Pageに期待するとのご挨拶がありました。その後、本日の参加女性に花束の贈呈がある

ことから理事長の粋な計らいで“女性に花束を！”と唱和され乾杯の音頭をとって頂きました。

歓談の後、恒例のビンゴゲームに代り今年から始ったお楽しみ抽選会は丸善の中山さんの名司会で進行され、先週の72回ゴルフでも優勝したタトル商会の兩宮さんが見事222分の1の確立をものにして一等賞を引当て“最近参加する行事のつど何か商品がゲット出来るようだ”とスピーチされました。

パーティーは絵本の家、小松崎さんの「最近女性の参加者が増えて嬉しい」との中を頂き三々五々の散会となりました。年々若い参加者が増え、来年も今年を上回る参加者が集うことを期待いたします。最後に総合司会の和田さんをはじめパーティーの運営にご協力いただいた文化厚生委員会の皆様、大変ご苦労さまでした。

(丸善 OM 記)



### 目次

サマーパーティー2000	1	海外ニュース・うちの会社	3	「原書」を通して	6・7
理事会・委員会報告	2	パソコン外論考(其8)	4	広告	8
		出版文化史逍遙(4)	5		

## 理事会報告

7月19日(水)

- 以下の報告を了承した。
  - 関西会員に対するホームページ説明会を5社6名の出席を得て大阪で開いた。席上出された意見・提案は今後の運営に活かして行きたい。ホームページが立ち上がったが、引続き6ヵ月間を試行期間としたい。(ダイレクター委員会)
  - 国際子ども図書館見学会を8月24日(木)に実施する。〔Invitation to JAIP〕改訂版の効果的な配付方法を検討している。(Frankfurt Book Fair, SLA 年次大会等で出版関連団体を通じての配付の可否など) (広報・渉外委員会)
- ホームページ製作費の8月支払い、及びサイト運用費7月分より月次の支出を承認した。
- ホームページ用「協会の概要」の再検討を事務局に指示した。

## フォーティラブ 25周年記念事業へのお誘い

25年前、協会新年会の酒の席でテニス好きの間で同好会結成の話が出て、同年の伊豆長岡への懇親旅行の際に大仁で第一回の集いがありました。以来、熱心なテニス好きな面々とやり繰り上手な世話人に支えられて、本会は25年の長きにわたって続けられ、記念すべき節目を本年に迎えています。昨今では年に5回行われている合宿に延べ100名以上が参加し、活動はますます盛んになっております。25年の節目を祝い、今後のますますの発展を祈念して下記の要領で合宿と祝賀会を計画しました。

皆様の参加をお待ちしております。

記

日時：9月30日(土)～10月1日(日)

場所：秩父ミュージックパーク スポーツの森

[秩父市久那637-2/最寄駅：西武池袋線 西武秩父]

※詳細は追ってお知らせします。

テニス同好会〔フォーティラブ〕

## 委員会報告 <文化厚生委員会>

第97回 72会ゴルフコンペ

### 鎌ヶ谷カントリークラブ

2000・7・14(金)

朝、スタート時は曇り、午後からは雨の予報も、梅雨の中休みか、次第に晴れて厳しい暑さの中でのコンペに成りました。鈴木理事長(丸善)のホームコース鎌ヶ谷カントリークラブは美しい松林に囲まれゆったりしたフラットなコース。手入れも行き届きノータッチ、コラーイグリーンで初参加2名を含む総勢19名で熱戦が繰り広げられました。

優勝は「素晴らしいコースでラッキーだった、ゴルフを初めて二十余年、入賞は何回もあるが、優勝は初めて、スコアも纏った。」との雨宮さん(タトル商会)。自らも云われるように、文字どりの「苦節二十余年、念願の初優勝」。見事でした。お目度う御座います。2位には、進境著しい鶴竜次さん(東亜ブック)。「飛ばすだけでなく、良いコースで、良いゴルフが出来て楽しかった」と云いながら、ドラゴン2本も併せて獲得、素晴らしい成績でした。3位には戎井さん(丸善)。「最近ボールが飛ばなくなった、結果オーライのニアピン。」と謙遜されてましたが、ドラゴン、ニアピンとも獲られました。

暑いなかでのゴルフの後の冷たいビールの味は格別。談笑しながらパーティーもいよいよ盛り上がり、鈴木理事長の「会員の親睦に尽力され、楽しい会にして下さい。」の締め言葉でお開きになりました。

成績表	G	HC	NET
優勝 雨宮孝行(タトル商会)	98	20	78
2位 鶴 竜次(東亜ブック)	96	18	78
3位 戎井忍治(丸 善)	94	15	79
4位 斎藤純生(U.P.S)	84	3	81
5位 石渡 昇(阪神エアカーゴ)	101	20	81
ベストグロス 齊藤純生(U.P.S)	84		
ドラゴン 大野利夫(日貿) 鶴 竜次(東亜ブック)			
戎井忍治(丸善) 鶴 竜次(東亜ブック)			
ニアピン 戎井忍治(丸善) 佐川美貴夫(三善)			
楠本 忍(タトル商会) 和田 茂(大洋交易)			

(西山洋書 西山記)

## アマゾン、日本に橋頭堡

インターネット書店 Amazon.com が札幌に顧客サービス・センターを開設した。

同社スポークスマンによると、このセンター開設は世界的な業務拡大計画の第一歩であるとのこと、同社は日本語を話すスタッフを雇って電話での対応にあたる予定とのこと。

同社によると、日本は Amazon.com 最大の海外輸出先だとのこと。

DW Daily/August 1, 2000

## 大手はますます大きく！

アメリカの大手出版社20社の1999年売上高は、合計で1998年の数字（205億ドル＝135億ポンド）から7.6%増加して220億ドル（＝145億ポンド）にもなった。

この数字は、Association of American Publishers が発表した業界全体の1999年増加率4.3%よりも大きかった。これら大手20社が業界全体の売上高（約240億ドル＝158億ポンド）に占める割合も92%と、1998年の88%を大きく上回った。

上位10社に限っても、その総売上高は170億ドルで市場全体の71%を占めている。

Simon & Schuster の Education ビジネスを吸収した Pearson が売上高第一位で、対1998年（20億ドル＝13億2,000万ポンド）比86%アップの46億ドル（＝304億ポンド）もの金額であった。

学術専門書の分野では、Harcourt がこの2年間で3億ドル（＝1億9,800万ポンド）以上を費やして Mosby と Churchill Livingstone を買収し、医学書出版での第一位、全体でも第二位の売上高を記録した。

THE BOOKSELLER/July 28, 2000

## うちの会社

## 株式会社 絵本の家

東京都豊島区目白 1-7-14 目白久保ビル  
Tel : 03-3985-3350 Fax : 03-3985-4127

<http://www.5a.biglobe.ne.jp/~ehonnoie/>

ホームページをご覧になればお気づきになるかと思いますが、絵本の家では様々なお人形や雑貨も扱っております。これらはすべて絵本から生まれたもので、絵本の世界をさらに楽しめるようにと選ばれた商品群なのです。

時には絵本フェアなどの会場で直接お客様と接する機会もあるのですが、女性の方が大多数です。男性のお客様がいらしても、絵本の前ではずかしげに立ちつくされていることが多く、こちらから声をおかけしたもので迷ってしまうこともしばしばです。

もともと子どものために作られたのが絵本の始まりです。大人になった今、幼い頃親しんだ絵本を今度はぜひ原書で味わってみてはいかがでしょうか。

藤堂 美香

『絵本の家』。この社名から皆様はどんな会社をイメージされるでしょうか。

ヘンゼルとグレーテルがみつけたお菓子の家のようなオフィスで優雅に働く女性スタッフ…。そんな誤解をされてはいないでしょうか。

確かに社長以下スタッフはすべて女性ばかりですが、残念ながらどちらかというと“ガテン”な職場なのです。絵本といえど重い書籍ですから、毎日大量の荷物と格闘しており、あまり色気はありません。

男子禁制という訳でもないのになぜか女性が集まってしまうましたが、全員やはり絵本が大好き。月に1度は有志で絵本の勉強会を行なっています。

今年からホームページが開設され、スタッフ一同、より多くの方に原書の絵本の素晴らしさを伝えたいとはりきっております。ぜひ右上のアドレスにアクセスしてみてください。

## 新・パソコン外論考 (其8)

宇田川一彦 Udagawa Kazuhiko

◆Smoke gets in your eyes./消えた恋の炎。だから、煙が眼にしみるのね。。

子曰、述而不作、信而好古、

The Master said, 'I transmit but do not innovate; I am truthful in what I say and devoted to antiquity.'

(論語/述面・Confucius; The Analects/Book VII)

【超拙意訳; 先生はいわれた。「私は、先人の学問を祖述するだけで、新しい文化を創作することはしない。つまり、過去の中からのいいものを選び、愛好すべきものを愛する。これが私の学問に対する態度だよ」

【外注; 先人の学問とは、当時の「礼楽」のこと】

★Internet 関係のパソコン英語:\*\*\*\*\*(4)

『B2C が向き合う現実—\*dot com 企業、全滅の危機』最近週刊誌での見出しです。Internet 関係では、頻繁に略語 (abbreviation) が登場します。多いのは、なんといっても E-mail 関係が多いのですが。。

で、冒頭の略語【B2C】は、Business to Consumer で [消費者向け企業] の意味です。[to] の発音から→2、というところが、かわいいです。

まあ、【B2C】は、彼の国アメリカに於ては、Net ビジネスの花形ともてはやされていますが、ここ2、3年以内にほんの一握りの【B2C】を残すのみ、といわれています。ましていわんや日本に於て。。

また、【B2B】=Business to Business [企業と企業の取引仲介] も Net 関係では耳目を集めています。このような Net ビジネスの世界では、日本でいうところの社長・会長にあたる【CEO】=Chief Executive Officer [最高経営責任者] に、15歳や大学生の20歳代のトップが多々いるところが、今までの business [商取引=ビジネス世界] と一味違う特徴です。それと、なんといっても際立つのが【VC】=Venture Capital [投機的資本] の出資に支えられている点であります。adventure [わくわくするような楽しい冒険] 的なものと違って、risky な投資資金であるものを、ただ『ベンチャーキャピタル』といいますと、何か「よき」響きに騙される気がするの筆者だけでしょうか?

閑話休題。E-mail 系では、【B4】=Before ということで [前に、すでに、以前に]、以前から使用されてい

ましたので上記のような【B2C】【B2B】の解釈は、あまり違和感なくすなりと。。

ただ、「ある語句を発音の似た文字に置き換えること」から生じたものですから、親しい友人くらいに止め置かれた方が正解です。How r u? ってな挨拶文は。

【to】 【too】 = <2>      【for】 = <4>

【you】 = <u>      【sec】 = <c>

【are】 = <r>      【later】 = <L8R>

また、数字が入る略語パターンでは、1年ほど前大山鳴動鼠一匹的な2000年問題の【Y2K】があります。最近は、OSの [Windows 2000] の【W2K】があります。

この他に、abbreviation がいくつかあります。

【F2F】=Face to Face (with) [向かい合って]

【FAQ】=Frequently Asked Question [頻繁に尋ねられる質問] =読みは、例の4文字禁句と同じですので、発音の際はご注意ください。この文字が見かけられるのは、メーカー (ソフトハウス等々) サイドの【Web page】。

「頻繁に尋ねられる質問」を受ける側のメーカーが、勝手に【FAQ】コーナーを創設しているわけです。まあ、毎度毎度「同じ」質問を受ける側は苦痛であることは分かりますが、【FAQ】なんてユーザーをなめたようなコーナーをよく作りますよね。なぜなら、「頻繁に尋ねられるような欠陥品 (Hardware にしろ Software にしろ)」を出しているわけですから。。、裏を返せば。

【ASAP】=As Soon As Possible [できる限り早く]

【GA】=Go Ahead [どうぞそのまま続けて。。]

【IMO】=In My Opinion [私見では]

【FYI】=For Your Information [御参考までに]

【FYA】=For Your Amusement [話しのネタに]

【HAND】=Have A Nice Day [どうぞ、よい日を]

【CU】=See you [バイ・さようなら]

【CUL8R】=See you later [あとでね!]

【GIGO】=Garbage In Garbage Out [ごみを入れれば、ごみしか出ない]。大したソフトでないときなどの評価を、仲間内でメールでやり取りする際に頻繁に見られる略語です。会計学などで棚卸資産の評価方法のひとつである【FIFO】=First-In, First-Out [先入先出法] 的な発想です。語呂のよさが第一なのです。

【NRN】=NO Reply Necessary [返信不要]

で、老婆 (爺) 心ながら、一言。これら略語は、いわゆる Net Jargon [ネット専用隠語] です。要は、内部のみの専用使用で、次号は、記号を。。(乞御期待)

## 洋書の歴史雑記帳〔Ⅱ〕 吉利支丹と洋書(2)

鈴木 陽 二

## ◆ザビエルのもってきた聖書

小京都という古色の家並みや古刹を残す町は、全国のあちこちであって、訪れる人々の心を和ませてくれる。しかし、京都を模して築造された、本来の意味で小京都と呼べる町は、土佐中村と山口市がその双璧であるという(西川幸治編『歴史の町なみ』)。山口の歴史は古く、ザビエルが訪れたときには開府から既に二百年ほどの年月が経過し、尼子との戦いに倦んだ義隆が西国一の文化を开花させた華やかな城下町であった。布教を志しながらザビエルがたどった町々、鹿児島や平戸、京都などのどこよりも山口の町は壯麗であったし、また大内家の隆盛も頂点にあった。国王に献上する予定であったインド総督やゴアの司教の書簡と贈り物を義隆に贈呈して、布教の最後の望みを山口につないだのも当然であった。

さて、ザビエルが義隆に示した聖書について、少し検討してみたい。この部分をフロイスの『日本史』(松田毅一・川崎桃太訳)から引用すると、「フランシスコ師は、はなはだ大型に作られており、ことのほか豪華な挿絵入りの聖書(ビブリア)と、新しく、かつ美しく華麗な注釈書(グロザ・オルディナリア)を携え、これらの書物の中に私たちのすべての聖なる教えが記されていると語りながら、それらを彼に示した」となっている。この松田・川崎両先生の訳(中央公論社版)はポルトガル語原典から全3部を完訳したものであるが、それ以前に、柳谷武夫先生がシュールハンメルのドイツ語訳から重訳(第1部の全訳)した東洋文庫版が刊行されている。

ゲオルク・シュールハンメルはキリスト教史、特にザビエルの研究家としての世界的権威であり、東洋文庫版には彼による原注が随所にほどこされている。この原注を引用しながら、ザビエルが持ち込んだ聖書と注釈書の推測を試みてみよう。それによると、「この挿絵入り豪華版聖書の一例として、マノエル一世がパレム修道院に遺贈し、今日リスボンの国民古文書館にある、イエロニモスの聖書 *Biblia dos Jeronymos* をあげることができる。この *Glossa ordinaria* は、849年に死んだライヒェナウ大修道院長シュトラーボ *Walafried Strabo* が著したヴルガタ聖書注釈書で、この注釈書は、九世紀

から十六世紀まで神学者たちが利用していた日常の、ほとんど唯一の注釈書であった」と注記している。

ザビエルが持ち込んだ聖書を特定する資料はない。しかし、一例としてイエロニモス(ヒエロニムス)の聖書を挙げているところを見ると、シュールハンメル自身ラテン語に訳されたウルガタ聖書であったと解釈しているようである。*Sophronius Eusebius Hieronymus* (342頃-420)はローマの教父・聖書学者であり、教皇 Damasus 一世の要請で20年ほどの歳月を費やして405年にラテン語訳聖書を完成した。この聖書は西方教会の正典として使用されるようになったことから、一般や共通を意味する「ウルガタ」(*Vulgata*) 聖書と呼ばれるようになった。*ゲーテンベルク『42行聖書』*もウルガタであるが、これを含めて15世紀に印行されたラテン語聖書は98点に上る(L.ハイン『印刷術の発明から1500年までの全印刷物書誌目録』)。まして、ザビエルが日本に向けて出発する16世紀半ばまでにはさらに多くのウルガタ聖書が刊行されているし、あるいは印刷本ではなく写本をもってきた可能性もないわけではない。ザビエルの聖書は、宣教師が持ち歩く小型の聖書ではなく、大型で豪華なものであったというフロイスの文面から考えると、ゲーテンベルク聖書のようにボーダーのイルミネーションやイニシャルのルブリケーションなど華麗な彩飾がほどこされ、重厚な革装のものではなかったろうか。

次に注釈書 "*Glossa Ordinaria*" であるが、編纂者 *ワラフリド・ストラボ* (809-849) はドイツのシュヴァーベン地方に生まれ、西フランク国王カール2世(禿頭王)の家庭教師を務め、その功績でライヒェナウのベネディクト会修道院長となった。文筆家として多くの作品を残し、*カロリング・ルネッサンス*の最も優れた詩人といわれた。この注釈書は中世の聖職者の間に大きな影響力のあったもので、過去の傑出した神父や神学者の聖書解釈に関する見解・説明を集成・要約したもので、いわば布教の必携図書であった。

大型で豪華な聖書や注釈書をもってきたということから、ザビエルが日本の布教に抱いた夢と意気込みの大きさをうかがえるのではないか。(元丸善・本の図書館長)

## 「原書」を通して

島岡 丘

「原書」ということは「翻訳書」に対して使われてきたもので、主として欧米で印刷されて日本に直輸入されたものをさしていた。原書は良い意味で「バタ臭い」という感じが伴っていた。最近では英語の原書が外国語学習用に多く使われるようになって、学習者の身近な存在となった。各大学の生協などに行くと、この種の比較的やさしく読める原書が多く平積みになっているのでくわすようだ。英語の教科書の学習のほかに、英語の原書が副教材の形でよく利用されるようになった。

一人が一生に直接体験する範囲は、本人に取っては様々であろうが、やはり、個人の体験する量は場所と時間に制約されており、極めて限られてしまう。やはり、他の人たちの経験を見聞する必要があるようだ。特に文字の媒体を通せば、古今東西の多くの人たちの体験を読むことができ、それらの「代行経験」を通して、自分の経験をより豊かにできそうである。

代行経験は日常使う母語を通してだけでなく、今や国際語化した英語を通してでも得ることができることが望ましい。1世代前の大学生たちは、大学の授業で使う英語の教科書にはあまりとらわれずに、洋書を多く読むようにすすめられ実行したものだ。日本の「岩波文庫」に匹敵していたイギリスの *Everyman's Library* とか、高度の内容を分かりやすく解説した *Home University Library*、あるいは古典的な著作を集めた *Oxford Classics* シリーズなどを読むことをすすめられたり、あるいは学生自ら書店に赴き、*Modern Library* などから気に入ったものを購入し、友達と競いあって読んだものだった。

*Everyman's Library* シリーズはおよそ1000点ばかりあったが、その中には、シェイクスピアやチャョーサーなどの英文学の古典、Palgrave が編集したイギリスの詩集、*The Golden Treasury*、伝記にはプラターク英雄伝、Boswell のサミュエル・ジョンソン (Samuel Johnson) 伝、さらに、エッカーマンのゲーテとの対話も同シリーズで読むことができたし、フランスの文豪ヴィクトル・ユーゴーのレ・ミゼラブルもこのシリーズで読むこともできた。

高校時代は大学受験ということが強く意識されているため、受験参考書を勉強しなければ大学に入りにくいと

考えがちであったが、幸い私の高校時代の英語の先生は受験参考書を読んでも英語の真の実力はつかない、英語そのものを多く読むように、と言って、N. Hawthorne の *Twice-told Tales* を貸してくれた。早速、帰宅して、最初のストーリーの David Swan 読んだとき、vissitude とか drowsily など見慣れない単語があったものの、一晩で読み通すことができたので、翌日読後感を先生にお伝えしようと同ったところ、あのストーリーを一晩で読めたのは実力がある証拠であるとともに褒めてくださり、さらに R. L. Stevenson の著作をまた貸して下さった。褒められると嬉しいものであるが、今度はかなり長編で、歯ごたえもあり、自分の実力の無さを思い知らされた。そこで、英語の教科書を、自己流ながら、「予習音読」でチャレンジし、英字新聞の社説を毎日目を通し、新語句があれば、それらをノートに書き出して覚えたり、英文日誌をつけ、分からない表現は日本語で仮に書いておき後で先生に聞いて覚えるようにした。その結果、英語の模擬試験や大学入試の問題で手こずることはなくなったように思う。

最近の言語学研究では、読書の内容だけでなく、リーディングそのものの認知的なプロセスを研究対象としているようである。従来漠然と考えていた読書とは異なり、リーディングは活字を通して新しい情報を手に入れるというよりは、むしろ読者が持っている既存の知識と新しい情報との接点をピンポイントし、新しい情報にチャレンジさせるという方向に進んでいるようである。言い換えれば、受動的な読書ではなく、積極的な読書法ということができるだろう。

積極的な読書法では、まず、どういう情報を読者として求めるのが読書の第一の条件になる。読書をする前のアクティビティとして、自分の既成の知識がどうゆうものであるか、これから何を知らうとしているのかを整理してから読み始めることになる。日本であまり知られていないことで、詳しい事情を英語を通して知らうと思うと、たとえば、オックスフォード大学出版局 (OUP) から出版されている Bookworm シリーズの Factfiles が第一の候補に挙げられるかもしれない。“factfile” というタイトルが示すように、事実やデータをわかりやすい英語で書かれているので、英語の勉強というより、内容への興味に惹きつけられて読了し、気づいたら英語力が独りでについているということになるような気がする。一冊がわずか22頁で巻末には読解チェックの練習問

題と glossary がつけられている。その上、大小カラー写真の枚数がページ数のおよそ2倍ほどあり、さらに文章を理解しやすく親しみやすくしている。大人の場合は、2、30分で1冊を読み終えることができ、達成感が得られる。

この OUP のファクトファイルシリーズのうちから、いくつか取り上げてみよう。

#### *Rainforest* から

○マラリアの特効薬キニーネはどこから採集するのでしょうか？

Quinine, the medicine of malaria, comes from the cinchona tree of Peru. (p. 4)

○白血病の血止め剤はどこから採集するのでしょうか。

The leaves of the rosy periwinkle from Madagascar are used as a medicine for the deadly blood disease, leukaemia. (p. 4)

○ハミングバードが花から蜜を吸うとき、羽をばたつかせませんが、1秒間に何回羽を動かしますか。

While a hummingbird is drinking nectar from a flower, its wings move up and down about fifty-five times every second. (p. 2)

#### *Ireland*

○アイルランドでは英語以外に使われている言葉はありますか。

Today, most Irish people speak English, but they all learn Gaelic at school, and some, in the west of Ireland, speak Gaelic at home. (p. 5)

○アメリカの都市部にアイルランドからの移民が多いのはなぜですか。

Potatoes were the best things to farm on their poor, stony land. But in the 1840s something killed the potatoes, ...Thousands of them died. Many more went on ships to America, to find a new and better life. When the Irish people came to America, they lived in big cities, like New York. (p. 8)

#### *The Olympic Games*

○オリンピックに参加する国はどれくらいですか。

In the Games of today, there are more than ten thousand athletes from nearly two hundred countries for nearly three hundred

events. (p. 1)

○最初のオリンピックはいつどこで行われたのですか。

The first Olympics which we are sure about were in 776 BC, but they probably started a long time before this. (p. 2)

#### *Mission Apollo*

○最初に人間が月の表面に到達したのは何時で誰だったのですか。

On July 20, 1969, the small lunar module called the *Eagle* landed on the moon. The captain of the *Eagle* was Neil Armstrong. His pilot was Buzz Aldrin. Mike Collins, the third person in the group, was alone in the command module. (p. 1)

○月から待ち帰った石からどうということが分かったのですか。

People wanted to see the moon rocks. By studying the rocks, they could find out about the moon and if there was life there. They soon discovered that there was none. The moon is dead.

#### *Diana, Princess of Wales*

○交通事故で亡くなったのはいつで何歳でしたか。

Diana Princess of Wales died in a car accident in Paris on 31 August 1997. ...Diana Spencer was born on 1 July 1961 at Sandringham in England. (p. 1, p. 4)

○チャールズ皇太子と知り合ったきっかけは？

Diana's sister Sarah was a friend of the Queen's son, Charles, and Charles sometimes visited her at Althorp. (p. 4)

語彙数は700語から1200語ぐらいで書かれており、同じ内容をやさしく表現する方法も学び取ることができる。今や英語は学ぶ対象というより、情報のやりとりの手段として重要性が持たれている。小学校からシニアまで生涯学習の見地から、英語が見直されている。読んだ内容を原語で語り合うという機会もこれからはもっと必要になる。

(茨城キリスト教大学教授)

# Four Centuries of Clinical Chemistry

Louis Rosenfeld

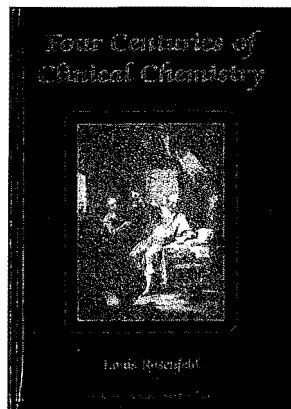
ISBN:90-5699-645-2/Hard/580pp/1999/¥25,000

(Gordon and Breach Publishers)

The origin and early years of any rapidly changing scientific discipline runs the risk of being forgotten unless a record of its past is preserved. In this, the first book-length history of clinical chemistry, those involved or interested in the field will read about who and what went before them and how the profession came to its present state of clinical importance.

## Selected Contents:

Anatomy/ Protein and Food Shortage/ Library Medicine/ Early Development and Use of the Microscope/ Introduction to Physiological Chemistry/ The Flexner Report and Medical School Reform/ Cholesterol/ Clinical Chemistry Laboratory



# Science in the Twentieth Century

Krige, J. / Pester, D.

ISBN:90-5702-172-2/Hard/941pp/1997/¥17,500

(Harwood Academic Publishers)

The history of science in the twentieth century is one of the most exciting fields currently under development. *Science in the Twentieth Century* is a substantial, authoritative volume, demonstrating incisive and well-researched writing, as well as the formidable accomplishments of science itself. Readers will gain insight into how new organizations, enormously increased funding, refined laboratory procedures, new technology, and warfare have decisively shaped how science is practiced today.

## Selected Contents:

What is Science?/ Scientific Management and the Production Process/ Academic Research, Technical Change and Government Policy/ Science and the University/ Innovation and the Modern Corporation/ Innovative Networks and the Transformation of the Pharmaceutical Industry in the Twentieth Century/ Clinical Research/ Cancer: The Century of the Transformed Cell/ The Molecular Transformation of Twentieth-Century Biology/ Biochemistry, Molecules and Macromolecules/ Polymer Chemistry/ Atomic and Molecular Science



日本総代理店



YOHAN (日本洋書販売配給株式会社)

営業企画本部 〒169-0072 東京都新宿区大久保3-14-9

STMグループ 電話 03-3208-0186(直通) FAX 03-3208-5308

2000年8月

通巻第399号

日本洋書協会

編集者 高橋 紘

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-21-4 千代田会館5階20号室 ☎(03)3271-6901 FAX.(03)3271-6920

URL: <http://www.jaip.gr.jp> E-mail: [jaip@maruzen.ne.jp](mailto:jaip@maruzen.ne.jp)

印刷所 = 藤本総合印刷株式会社